

ヒヤリハット報告

日時：2024年5月25日土曜日 晴れ 参加者：T内T(OT) N森(OT) O田(OT) T内S(OT)

場所：頭巾山（京都・福井県境）バリエーションルート 15時頃

頭巾山山頂から東へ横尾峠に向かう主稜線から野鹿谷と和佐谷の間にある支尾根を北に下った標高約610m地点（YAMAP歩いたルートの矢印）※東西に延びた主稜線は整備されたトレイルルート

ヒヤリハットの状況：T内Tが先行して左に分かれた支尾根を探すため、矢印の地点尾根の先端部の小ピークを通過して西の急斜面を下る際に足元の木の根に片足が引っ掛かりバランスを崩して頭からあおむけに約5m滑落した。テコの原理で簡単に上半身から落ちるとすぐに態勢は戻せず3回転程して停止した。幸いに木や岩にぶつからなかったが左太ももに擦り傷（長ズボンとタイツを履いていた）、右小指と左親指に突き指のような打撲があった。ザックを背負っていたので背中は無傷だったがステンレスボトルが変形し保温機能が低下して使えなくなった。

反省点：尾根から分岐した支尾根を探す場合は支尾根の分かれ目が地図上でも不明瞭な箇所である場合は小ピーク手前から尾根が分れ、少し下ったところで明瞭な尾根になっていた。現場は急斜面で足元は木の根や枯葉が多く滑りやすい。足元をよく見て慎重に下る必要がある。パーティは近くにいたが先行したので滑落から立ち上がるまで数分連絡が取れなかった。状況によっては斜面の滑落が重大事故につながる場合もありルート探索においてはパーティのメンバーと連絡を取り、見える範囲で行動するなど慎重な対応が求められる。また下山時は特に事故が多いので、時間的にも体力的にも余裕を持って歩くことも必要だと思われる。

